

真田

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のためのフリーペーパー

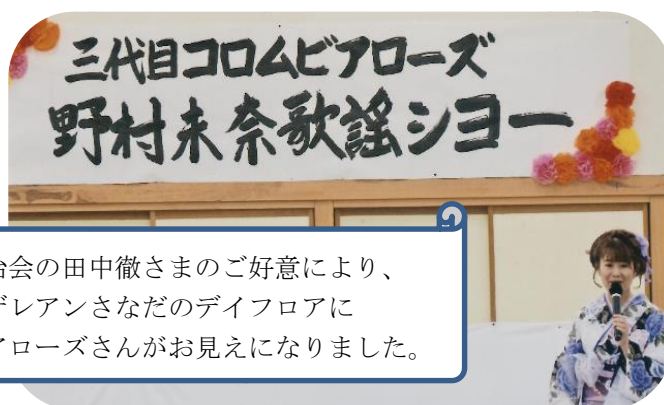
いきいき♪

活き活き ふるさと通信

第41号 2014年10月 1日発行【真田地域に全戸配布】



8月2日(土)に 第30回 真田まつり ～2014 夏の陣～ が盛大に開催されました。真田地域の様々な場所でもイベントがあり、メイン会場では多くの出店やステージ上での催し物が披露されました。NHK 大河ドラマ「真田丸」放送にむけても大いに盛り上がってきた真田地域です。



石舟自治会の田中徹さまのご好意により、アザレアンさんだのデイフロアにコロンビアローズさんがお見えになりました。

時報から見た近伏史

第2回 本原村編

若林 幸正

1. 上田温泉電車北東線 本原村に於ける開通祝賀式

* 昭和3年5月発行発行（第64号） 抜粋

多年東北地方民の期待し居たる、上田温泉電軌会社経営に係る東北延長線は漸進し、昨年11月上田伊勢山間の開通を見、超えて本年1月も本村本原駅まで開通し、更に5月1日より傍陽及長村線と北東線全線の運転は開始せられたのである。この開通祝賀式を、至る5日に開催され、丸山村長式辞、清水助役経過報告、温電会社々長代理柳沢健太郎及び三井傍陽村村長の祝辞ありて閉式となる。

その後、祝賀余興を公開、婦人子供のため電気館を出張せしめて活動写真を公開し充分なる興味をそえ、盛大なる本日の会は終わる。（原文のまま記載）

◎コラム・・・昭和3年には、上田の東北地方、本原村、傍陽村、長村方面に電車を開通させ、関係地域の発展は著しく産業経済の発展をみた。しかし昭和47年、電車の利用者の激減により上田丸子電鉄も全線廃線となり、現在は国道144号線と変わり、時折交通渋滞を起こす昨今である。今でも国道沿いに昔の面影がみられる。

2. 本原村八景

* 昭和3年11月発行（第7号） 抜粋

本原村時報局は、昭和3年春（御大典記念）事業として、本原村八景を募集し、広く村民から公募を集める。最終公募数は、30点となり、その中から厳正審査の結果、8点を選品し本原村八景を決定す。

●本原村八景

- | | |
|------------------|-----------|
| 1. 烏帽子の残雪 | 2. 神川の暖流 |
| 3. 北本原の青嵐 | 4. 塩籠の新緑 |
| 5. 御屋敷の松籟（しょうらい） | 6. 落合の夕日 |
| 7. 広山寺の桜 | 8. 東北街の暮色 |

◎コラム・・・これら八景は、今から86年位前の本原村を代表とする風影です。今でもその面影を残す場所が所々に見られます。しかし時代が変わり周囲の景色も大きく変わり昔の絶景がみられません。昔を忍び八景に足を運ばせて当時の景色を確認してみてください。

3. 普選最初の村の会議終わる。

* 昭和4年4月発行（第75号） 抜粋

選挙制度の改正により初めて施行された、本原村村会議員選挙は4月2日本原村小学校体育館で行われた。選挙立会人には、山浦義雄、宮下俊次郎、花岡文雄、田中佐助の4氏。午前8時より開始し、午後4時30分より開票を始め午後6時選挙を終了せり。

○立候補者 17名（当選者12名）

●開催結果

		(年齢)			(年齢)
45票	神林 政芳	48歳	30票	横沢 袈裟久	50歳
44票	山崎 友雄	44歳	29票	横沢 精正	44歳
43票	荒井 糸吉	45歳	29票	一之瀬 清後	37歳
39票	坂口 信年	48歳	29票	横沢 袈裟之助	56歳
34票	宮下 俊次郎	48歳	25票	田中 元次郎	47歳
30票	若林 祐之助	50歳	23票	一之瀬 忠一	52歳

※ 次点23票 清水正雄、一之瀬忠一氏がご年長につき当選とす。

- | | |
|----------|------|
| ○ 名簿登載人数 | 603人 |
| ○ 投票者数 | 445人 |
| ○ 棄権者数 | 158人 |

真田地域包括支援センターだより

平成 26 年 10 月

地域包括支援センターでは、総合相談支援、権利擁護事業、介護予防ケアマネジメント、包括的・継続的ケアマネジメント、高齢者の介護予防業務を行っています。
いつでもお気軽にご相談ください。

真田地域包括支援センター職員紹介

向かって左側から

看護師	半田梨紗
所長・主任介護支援専門員	市川明美
社会福祉士	永井理恵
保健師・主任介護支援専門員	橋詰京子



真田老人福祉センターで行っている健康相談や講座

	健 康 相 談		健康長寿のための講座			高齢者 支援相談
			介護予防体操	音楽 レクリエーション	さわやか サロン	
内 容	健康相談、 血圧測定等		健康長寿につな がる運動など	音楽で心と体を リフレッシュ	楽しい催し物 を企画します	介護相談、 血圧測定等
時 間	午前 10:30～11:30		午前 11:00～12:00	午前 10:30～11:45	午前 10:45～11:45	
担当者	真田地域自治センター 保健師		健康運動指導士	真田社協・地域包括 支援センター職員	老人福祉セ ンター職員等	真田地域包括支援 センター 職員
10 月	6 日(月)	20 日(月)	20 日(月)	9 日(木)		29 日(水)
11 月	10 日(月)	17 日(月)	17 日(月)		13 日(木)	26 日(水)
12 月	1 日(月)	15 日(月)	15 日(月)	11 日(木)		24 日(水)
27 年 1 月	5 日(月)	19 日(月)	19 日(月)		15 日(木)	28 日(水)
2 月	2 日(月)	16 日(月)	16 日(月)	12 日(木)		25 日(水)
3 月	2 日(月)	16 日(月)	16 日(月)		12 日(木)	25 日(水)



介護予防体操



健康相談・血圧測定



高齢者支援相談

相談や講座など、上記の日程で開催していますのでお気軽にお出かけ下さい。

真田地域包括支援センター TEL 72-8055 FAX 71-5740 (真田総合福祉センター内)



我が家のペット自慢



動物が大好きな明るいご家庭に訪問しました（下横道 堀内ふみ江様ご一家）
人懐っこい1匹のワンちゃんと2匹の猫ちゃんが仲良く暮らしています。

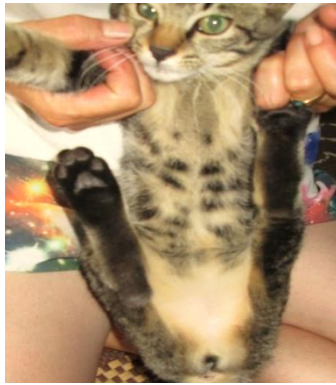
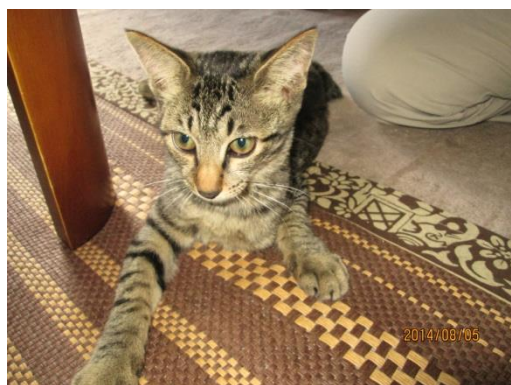
“ハナちゃん”は今年の9月で9歳になるワンちゃん。首の後ろに黒い模様があるのが特徴。



5人兄弟で他の兄弟も真田町に暮らしています。
月に1回トリミングに行くおしゃれさん。人が大好きで人が来ると嬉しさを大きな声で表現します。
ふみ江さんといつも一緒に過ごし、一緒に寝るのも日課。

同居している猫ちゃんとも仲良く暮らしています。

“ルルちゃん”は月齢1か月半になる東京吉祥寺生まれ。今年の5月11日から堀内家で暮らしています。



美人さんでモデル体型。
お腹には綺麗な豹柄が・・・
抱っこが好きで料理していても肩に乗っているそうです。得意な事はもちろんジャンプと木登り。最近はお外デビューをしてりんご畑を走り回り、木登りを楽しんでいます。

“ロン君”は今年で4歳になる千葉県銚子市生まれ。



お孫さんが生後数週間の“ロン君”を拾い、現在は他の2匹のお兄さんの存在。娘さんが呼ぶとどこにいても返事をして、近づくと場所を教えてくれるお利口さんな猫ちゃんです。
トカゲやもぐら、スズメを狩るのが得意で、素早い一

面がある一方、屋根や木に登って降りれなくなりハシゴで救出する事が何度かあったみたいです。

普段は2階の網戸を自分で開けて、屋根の下に車があれば、車に飛び降りて外出されます。

冬は庭木の葉が落ちて木登りできるので、冬季限定で2階から帰宅する事もあるみたいです。

ワンちゃんは8代目、猫ちゃんは14・15代目と今までに沢山の動物と共に暮らしていました。

出会いを大切にされている堀内家は取材中もとても賑やかで笑いの絶えない素敵なお家庭でした。 櫻井

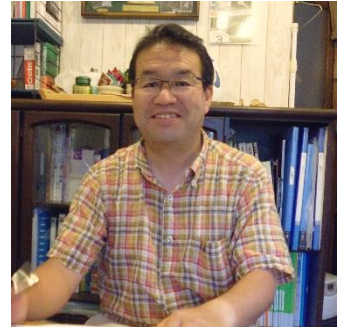


リレー訪問

真田町の社長さん 第15回

カントリーハウス 21 代表 石井 充 さん

今回は出早区で不動産・建築業を経営されております「カントリーハウス 21」の代表 石井 充様をご紹介します。20 年近い住宅営業マン時代から一念発起し 6 年前に設計事務所を開設、建築に携わりながら現在は不動産業も展開されております。



事務所はお洒落なカントリー調のトレーラーハウスで、事務所内は木の香りに包まれる優しい空間です。

不動産業は地元の旧真田町を始め、北信～佐久方面まで広範囲に活動し土地、建物付き物件の仲介業務を主にしておられ、地元のお客様への対応は勿論、近年は「田舎暮らしを信州で！」という県外のお客様からの問い合わせも多く、相談や提案にお忙しい様子です。建築業は新築やリフォームのご相談もお任せ下さいとの事。気軽に相談にのってもらえ、ベストなご提案をいただけそうな雰囲気です。「この地域の人口が増える一助になれば・・・そんな事がしたいんです。」と話されておりました。



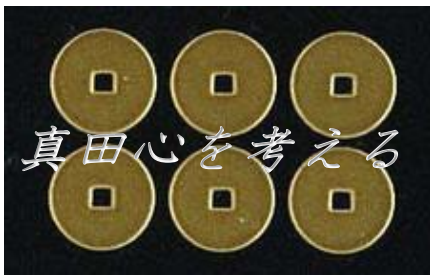
お仕事以外では、学生時代からサッカーをされており、現在は指導者として子供達と触れ合うのが楽しみだとか・・・真田町時代には少年スポーツのコーチを経て、真田中学校では外部指導者として昨秋まで 7 年間関わり、この春からは上田市内で FC. LIGARE (リガーレ) というクラブチームの副代表として小、中一貫とした指導に情熱を注いでいます。ちなみに「リガーレ」とはラテン語で繋がりという意味だそうです。

仕事よりサッカーを取る！（笑）とのお話しでしたが、お仕事の話しも、サッカーの話しもアツく、素晴らしい方でした。

真田町に住みたい！ 田舎暮らしがしたい！と夢見る方がカントリーハウス 21 さんで素敵な出会いから実現、より一層人と人との繋がり～絆が出来れば良いな・・・と思いました。

次回の真田町の社長さんは、リーフケア株式会社 社長 諏訪部 良智さんです。お楽しみに・・・
(島川)





第12回 真田三代の活躍

常田 軍三

四、村上義清上田へ進出

⑦ 上田原合戦（その一）

村上義清は北信濃坂城の葛尾城主として、北信地方では名の知られた戦国時代の武将です。村上家の出自を簡単に見てみましょう。笹本正治氏の著書『村上義清とその一族』によりますと、「村上天皇のこどもである為平親王の子、憲定が信濃国更科郷村上（現長野県坂城町）に住み、村上信濃守と称しました」とありますから、村上家の出自はかなり高貴な出の戦国武将と言えます。義清は、その末裔として一世を風靡し、北信濃の勇将と称えられました。義清にいたるまで村上家は幾多の消長を重ねるわけですが、特に義清の時代には村上氏の勢力伸長のため東北信の堺目である坂城から、東信濃の上田・佐久地方へ積極的に進出して行きました。

この時、義清はそれまで通過していたところの室賀峠（上田市川西地区）越えや、千曲川沿い（上田市岩鼻）のルートではなく、太郎山から鏡台山に続く尾根にある芝峠を越して洗馬（現上田市傍陽地区）に出るコースを選び、コース上の城砦の洗馬城、根古屋城、横尾城を次第に攻略し、侵略していきました。

その結果上田・小県、さらに佐久地方まで一望できる東太郎山の尾根の先端に触手を伸ばして、東信濃侵略の先端基地としての役割を持つ砥石城を構築したのです。この城の構築によって、村上氏の勢力の進展は塩田平からの進出とあいまって、佐久地方までをその影響下におくことになりました。当然の結果として、武田信玄の信濃侵略の意図と村上義清の意図との対決が激化し、深刻化して戦いへと進展しました。その戦いが「上田原合戦」という歴史上有名な武田対村上の直接対決です。

（次号に続く）

編集後記

- “真田町の社長さん” 取材に初体験！担当Sさんと同行！インタビューや写真撮影（Sさんは記事！）の難しさを痛感！次回に向けて今から緊張感！（池田）
- 初めて取材させて頂きました。取材を快く受け入れて下さったご家族にはとても感謝しています。ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。（櫻井）

発行元：「真田 生き生きふるさと通信」広報委員会 事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内
〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111
TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010 E-mail keijinfukushi@azarean.jp
ホームページ <http://www.azarean.jp>

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は2014年12月1日の発行です。